

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都五条ホテル(仮称)	階数	地下1F、地上9F
建設地	京都市下京区五条通東洞院東入万寿寺町140-2番地他	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	384 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2019年7月4日
敷地面積	1,312.14 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社久米設計一級建築士事務所
建築面積	1,064.98 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月4日
延床面積	9,677.80 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社久米設計一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 ①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 74%  
 ③上記+②以外の 73%  
 ④上記+ 73%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.6

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	京都の建築に見られる自然素材を用いた計画としている。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。	補修必要間隔の長い配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮している。	緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電システムを採用するなど、エネルギー面にも配慮している。	OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	地表面対策面積率を大きくし、温熱環境悪化の改善に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される